

かわにし

議会だより

第161号

2025

4.15



どきどき・わくわく
さあスタート

小松小学校入学式 P27に関連記事



川西町議会H.P
QRコード

シリーズ広聴「町が大好き9」	2
どうなった政策提言評価	6
過去最大の予算規模(令和7年度予算)	10
2人が町政を問う	21
追跡・学童保育のいま	26

シリーズ
広聴
町が大好き
9

議会では、より多くの町民にご意見を伺い、議会活動の参考にさせていただくとともに、町内の優れた活動を紹介し、多くの方に知ってもらおう活動も行っています。

今回は地域おこし協力隊として、川西町フレンドリープラザ・遅筆堂文庫にお勤めの、井上ひさし研究家井上恒（ひさし）さんの4年間の任期が終了するにあたり、成果や町に対する要望などを伺いました。

3月20日、フレンドリープラザで橋本委員長・伊藤委員がインタビューした。記事の前半はインタビューを、後半は23日の最終講義をまとめて掲載する。

井上ひさしと遅筆堂文庫との出会いは

橋本 井上恒さん、4年間の地域おこし協力隊任務ご苦労さまでした。コロナ禍で活動が制限される中の活動でご苦労も多かったと思います。

はじめに、簡単に、井上ひさし文学、演劇との出会いと、川西町に赴任されるまでの経過を教えてください。

井上 4歳のころに始まった「ひさしこりひようたん島」の作者が私の名前と同じことから惹かれ、その後「ムーミン」、「ひみつのアッコちゃん」に

も同じ名前があり、さらに、学生時代にも『青葉繁れる』などの作品とともに、成長の過程で常に一緒にいたというのがきっかけです。

子育てで忙しく、作品から離れた時期に、ひさしさんが亡くなったと聞き、まだ触れていない作品や演劇があることに気づき、膨大な「未刊」と「未完」の作品を制覇してみたいという思いから、遅筆堂文庫や井上ユリさんに目が留まり現在があります。

地域おこし協力隊での成果は

橋本 井上文学の魅力は何でしょう。

井上 彼の作品の持つユーモアとか笑いという柔らかい部分と、もう一つは社会に対する認識、例えば憲法問題や平和問題の捉え方といった固い部分が生き方に影響しました。

橋本 地域おこし協力隊の活動での井上ひさし文学研究の達成度はどうでしょうか。

井上ひさし研究に大きな成果

地域おこし協力隊 ひさし 井上恒さん



復元された書斎にて(井上ひさしになりきって?)

井上 達成度は非常に低いですね。著作目録の4冊目を刊行しました。また、膨大な資料の中から発見したエッセイを未刊行発掘エッセイセレクションとして6冊出版協力しました。憲法についても1冊協力しました。

形にできたことによって世に知らしめたことが一つの大きな成果です。

また、川西中学校での講演活動や置賜農高での講義などを通して作品を知ってもらったり、文庫をご利用いただいています。

しかし、フレンドリープラザはもちろん、あいぱるを含めれば段ボールで200箱以上ありますし、整理して閲覧できるようにするには相当の人手と時間がかかるでしょう。このまま眠ったままにしておくのはあまりにも

つたいないです。指定管理者という制度の中ではいろいろな業務があり研究に集中できない点などがありました。志半ばで離任するのはとても残念です。前髪までも引かれる思いです。ぜひ長期的に取り組める若い人の協力を期待します。

時間とともにひさしさんも古い作家となりましたが、若い人たちにはそれなりのアピールはできているのですが、実は一番問題なのは大人が読まなくなっていることです。こまつ座上演も昔と違い難しくなっています。デジタルの時代ですが、直接手に取って触れて観ていただきたいです。

意外な人気スポット

町外の来訪者が多く、地図ソフトなどで検索して訪ねられるようです。町内の方のイメー

議会での応援体制は

伊藤 議会でも文化ワラザ上演の作品を中心に鑑賞で応援しています。また、平成31年3月に議員発議により川

西町読書推進条例を制定して「ひさしの町で本を読む」と呼びか

けています。読書条例の検証がなかなか進まないのも課題です。

井上 私のように好きな人間はなかなか見つからないと思います。資料を整理するには有資格者や研究者が必要です。川西町には世界で唯一無二の宝物があるわけですから、せめて町民の皆さんには意識して利用してもらいたいです。離任しても時々研究に来ますのでよろしく願います。長い間ありがとうございました。

橋本 4年間大変ご苦労さまでした。ありがとうございました。今後井上ひさし研究は続けられると思います。お体を大切になさり、成果を期待します。

それとともに、ご家族と一緒に来町をお待ちしています。

井上恒さん最終講義

『地域おこしは異文化のぶつかり合い』

使わなくてもできます。むしろ金がないのに新しいことをするとしたら、頭を使って説得するための材料を作らないとダメなので相当知恵を絞るし、必死に考える。そうやってほしいんです。また、文化にちゃんと金を使っているのが見えることが大事です。

川西町を目的地にさせねばならない、その中核は1年を通して開いているブレンダー・プラザ・遅筆堂文庫だと思っています。それには、全く人手が足りません。遅筆堂文庫についても整理が追いつかない、そのためには人材が必要で、待遇でも正當な仕組みにして欲しいです。

「一芸は万芸に通ず」 遅筆堂文庫館長 阿部 孝夫

一ファンから、井上ひさしが亡くなった後「全貌のわからない作家の作品をすべて読もう」と決意し、10年間主夫をしながら独自に調査。その膨大な資料を携えての遅筆堂文庫での4年間は、まさに満を持しての登場。テレビ、ラジオ、新聞、評論誌など、数々のメディアの関心を組み合わせ発信し続けてきた。ある時は自らの研究成果を語り、ある時は相手の企画の強力な助っ人として自らの知識で支援する。自らも研究成果を4冊にわたる「井上ひさし著作目録」として刊行、惜しげもなく公開する。結果として井上ひさしを、遅筆堂文庫を、川西町を全国に向け強力にアピールしてきた。

「一芸は万芸に通ず」は世阿弥の言葉とされているが、井上恒さんに最近そのことを感じる。井上ひさしを通して見えてくる世界をこれからも発信し続けてくれることを期待したい。



に広まっていく、これが、子育ての町につながる。

井上恒さんには地域おこし協力隊の活動報告で何度か議会だよりに登場していただきました。たんたんと研究を進め、着実な実績を残されたことに敬意を表します。本人曰く、「ひさしさんの膨大な資料のごく一部を覗いただけだった」の井上ひさしの偉大さを改めて知りました。



多くの方が聞き入った「最終講義」

井上ひさしを財産に
オンリーワンの、全国の自治体が羨む井上ひさしの財産がある。川西の文化はすごい財産を持っているということに気づき、誇りをもち今まで以上に活用していただきたい。そこを依拠したまちづくりであってほしい。これからご縁は続きます。私にとっても生命線なのでぜひ元気な

前ページの井上恒氏へのインタビューでは、3月23日の最終講義の際、4年間の本町へのアドバイスを期待してくださいとのことでした。ここからはその最終講義のごく一部を抜粋して紹介します。

地域おこしというのは、はすなわち異文化のぶつかり合い、それによって地域が更新されていくはずなのですが、価値観が違うわけですからスムーズにはいかない。その互いのうまくいかなさっていろいろをいかに共有するかということなんです。そこが理解できていないです。この町の特徴は横並びが好きなことです。町は逆に住民の自

主性を引き出す方向に動くべきです。素通りされる町になる中、ここフレンドリープラザの文庫が唯一、長崎の出島みたいなものになっている。目的地として集まれる場所と素通りをされる町、どちらになるかのつばぜり合いの中で機能し得るフレンドリープラザがポイントになるのではないかと思っています。

外から見ればグリアの町、しかし我々から見れば、井上ひさしの町なんです。その感覚がおそらく我々と地元の人たちと決定的に違います。

ここに金が落ちる仕組みがないです。ただテントに玉こんにやくぐらいしかないですから、それではダメです。「まどか」があるからいいじゃないかではダメです。複数の魅力がなければ時間を過ごす選択肢が一つぐらいはないと、今度来たらあれしたいとか、リピーターができません。1つだけでは1回でおしまい。これはあまり頭を

井上恒さんの愛犬ソーニャ 遅筆堂文庫副館長 遠藤 敦子

2021年4月、愛犬・柴犬ソーニャちゃんを連れて川西町へ帰郷と現れた。当初愛犬と同伴出勤をされていた。職員にはすぐなつき可愛い瞳で愛嬌を振りまき人気者に。だが警戒心の強いソーニャちゃんはプラザの庭で他人にしよっちゅう吠えた。遂には連れて来ることができなくなり、アパートで一日中過ごすことに。

それではかわいそうだと某人が合鍵を預かって散歩に連れ出すことに。ところが、某人は犬の可愛さに目覚め、遂に自分の柴犬を飼うことになってしまったからさあ大変！二匹を同時に散歩できればいいのだが、たとえ同じ家で飼っていてもなかなか仲良くなれないのが犬。結局ソーニャちゃんはまた一日中アパートで過ごすことに。

ソーニャちゃんは井上さんが札幌に帰省されるたびに飛行機でお伴した。何回往復したのでしょうか。でももう大丈夫！今度は井上さんの傍でずっと過ごせますよ。元気だね。



「であい」と「ご縁」の賜物 フレンドリープラザ館長 栗田 政弘

井上恒さんは、井上ひさしの残した膨大な本と資料を読み込み、この4年間で『井上ひさし著作目録』全4巻を発刊。また井上ひさしの未発表のエッセイ、コラムを発掘し「著作ファイル」を作成。それらがもとになって岩波書店から『井上ひさし発掘エッセイ・セレクション』として3冊出版された。これらの仕事は、遅筆堂文庫に保管されている蔵書、資料に、恒さんが「扉」を開け、光を当てたことで成し得た業績である。

ひさしと恒の運命的なであい。そして遅筆堂文庫に勤務することもまた運命だったと思う。プラザの最終講義では、4年間の川西暮らしで得た感想と町への提言、フレンドリープラザへの期待を率直に語っていただいた。それらは私たちへの励ましの言葉と受け止めたい。愛犬ソーニャとともに札幌市にお帰りになるが、私たちのご縁はこれからも続く。ひょうひょうとしたお姿で、またプラザにおいでになる日を楽しみにしている。



令和5年度 政策・検証評価

3月21日、令和7年第1回議会定例会最終日終了後、令和5年度政策検証評価報告書が井上議長から茂木町長に手渡された。

平成25年5月に制定・施行した議会基本条例で掲げた「町民参加の拡大」「政策提言」の二つの目標を具現化するため、意見交換会を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で2年ほど取り組めていなかった。

町民との意見交換会が令和5年8月に再開され、①防災・減災対策、②地域づくりの支援体制、③災害に強いまちづくり、④子育て世代への支援拡充、⑤アフターコロナ時代における継続した支援、の5つをテーマとした意見交換を行い、それを取りまとめ、第11回目の政策提言を5年10月に行った。中長期の政策は成果が見えにくいため、どうしても評価が低くなるが、そうした中でも大半はC評価（一定のせいかり）となり、着実に施策が進んでいる。

どうなった あの提言

議会は町の政策決定・実施の過程で多面的に関わり最終的に意思決定を行う。多くの政策は町民の要望や提言等を取り入れ、計画し議会に提案。質疑、修正等を通じて決定される。

されているか監視する重要な機関である。

川西独自の 検証システム

制定された「川西町議会基本条例」により、町当局に政策提言を行い、1年後に検証・評価を行ってきた。

議会は執行機関の行政運営や事業が適正かつ公平・効率的に実行

当初は検証・評価のシステムはなく、先進

事例もないため、本議会が全国に先駆けて独自に考案し、改良改善を重ねてきた。

1年後の到達度を 5段階評価

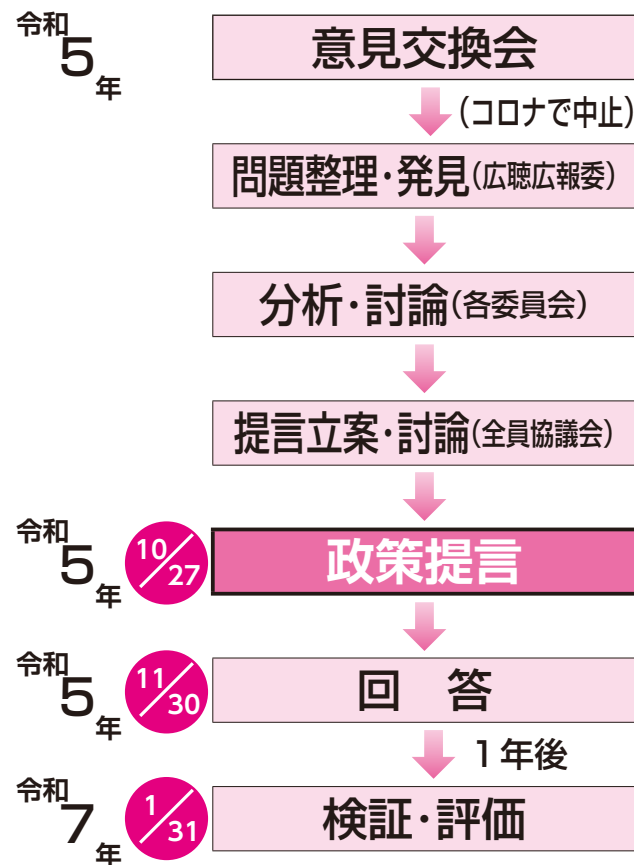
提言を行った施策についての調査は、回答を得てから1年後に、基本条例第8条に規定している次の点を聴取

- ① 政策を必要とする背景
- ② 提案に至るまでの経緯
- ③ 町民参加の有無およびその内容
- ④ ほかの自治体の類似する政策との比較
- ⑤ 総合計画における位置づけ
- ⑥ 財政的な裏付け

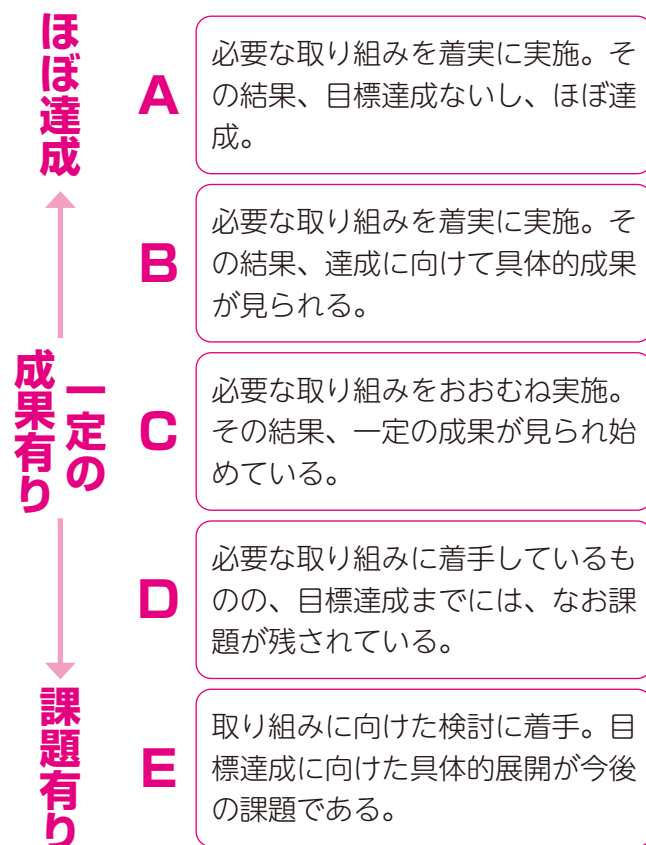
⑦ 将来にわたる政策などの効果とコスト

その後各議員が5段階評価を行い、全議員の平均点が評価となる。さらに広聴広報常任委員会で整理・検討を行い、議会運営委員会を経て、全員協議会に諮り、正式な報告書となる。評価基準日は令和7年1月31日。

政策提言検証の流れ(令和5年度)



政策検証評価基準



茂木町長へ報告書を手交

1 保護者負担が生じないよう、保育料の完全無償化に向け対応すること

回答 現在は全8階層のうち、1・2階層について全国一律で無償化が実施第3・4階層は県と町の支援を合わせて無償化を実施している。

令和5年4月からは町独自の保育負担軽減施策として全階層第2子以降の無償化を実施している。

第5階層から第8階層を含めた完全無償化については、国の子ども大綱等の内容を踏まえ検討を進めるとともに、負担軽減措置についてさまざまな機会をとらえ、国、県等に対し要望を行っていく。

検証評価 町独自の取り組みで子育て支援がなされていることは評価できる。
全階層が無償化されるよう、さらなる独自の支援や国・県に対する働きかけに努力されたい。

提言4 子育て世代への支援拡充



強化された堤体 = 鏡沼



充実した子育て支援 = 美郷幼稚園

2 コロナワクチン接種に対する支援を行うこと

回答 令和6年度以降は65歳以上の高齢者などの重症化リスクの高い人について、国と自治体などが接種費用を負担しながら秋から冬に年1回行う「定期接種」、それ以外は希望者が自己負担で受ける「任意接種」に変更する方向で検討が進められている。

「定期接種」における新型コロナウイルス感染症の位置づけに関しては、季節性インフルエンザと同じ「B類」とすることとされており、接種に係る個人負担への支援については、国、県の動向を注視しながら、町の感染症予防・予防接種事業において検討していく。

検証評価 全国一律の支援であり、接種希望も個人判断となっているが、高齢者等の接種者には支援を継続するとともに、年齢を問わず支援が図られるよう努力されたい。

1 商店、飲食店等へのきめ細かな支援を行うこと

回答 今年度は町内消費環境のデジタル化を促進するため、デジタル地域通貨「ダリヤPay」を活用した川西町プレミアム付き電子商品券を発行し、11月1日から利用開始した。今後も、引き続き最大の経済効果が得られるよう活用を図っていく。

今後、国の経済対策に向けた補正対応を見据え、関係団体との連携を図りながら、支援ニーズの把握に努め、町内の消費喚起と事業の持続可能な環境整備に向け、効果的な支援を継続していく。

検証評価 物価高騰による消費喚起や町内の経済活性化に向け、取り組みが浸透していることは評価できる。

今後も、町内の消費喚起と事業の持続可能な環境整備に向けた支援に取り組むとともに、デジタル化に対しては高齢者への丁寧な説明等、工夫すべきである。

提言5 アフターコロナ時代における継続した支援

1 各地区交流センターへの支援体制を整えること

回答 協働のまちづくりの理念のもと、地域づくりの拠点に位置づけており、当初より町職員の地域担当制を設けながら、定例センター長会、地域づくり連絡協議会を開催しながら、互いの情報共有、共通課題の解決に取り組んでいる。

今後もこれらの取り組みを継続し、広域的な連携も視野に入れながら、引き続き交流センターの活動支援に努めていく。

検証評価 町と地区および各地区間の情報共有化や事業連携が図られていることは評価できる。なお、人材育成や施設運営の安定化を図るため、実効性のある財政支援に努めるとともに、各地区の事業内容に格差が生じないように配慮すべきである。

提言2 地域づくりの支援体制

1 危機管理体制の充実とライフラインの強靱化を図ること

回答 総合防災訓練や防災士育成等の防災対策事業に加え、浸水想定区域および土砂災害警戒区域を対象とした説明会を開催し、住民の防災意識の高揚を図っていく。ライフラインに関して、川西町国土強靱化地域計画に基づき対策を進める。情報伝達については、スマートフォン等を活用した防災情報一斉配信システムの推進、屋内戸別受信機等の拡充を図り、災害情報の周知に努める。

検証評価 危機管理体制については、防災士の育成は評価できるが、各地区自主防災組織での位置づけを明確にすべきである。
ライフラインについては、上水道の漏水対策に努めるべきである。

2 冬期間の安全安心な生活環境を図ること

回答 毎年除雪対策協議会で除雪計画を決定。今年は総延長269・9キロメートルを実施。

降雪期の通学路安全確保は、各学校からの指摘箇所を、教育委員会、学校、道路管理者、警察等関係者で合同安全点検を実施。今後も通学路の安全確保に向け継続して取り組みを進めていく。

高齢者世帯雪下ろし等援助事業は、高齢者の負担軽減を図っており、令和5年度は労務費の高騰を踏まえ助成限度額を2千円引き上げた。

今後も除雪等派遣団体（援助員）、民生児童委員等地域の協力や支援をいただき高齢者世帯等の雪下ろし、除排雪の支援拡充に努める。

検証評価 冬期間の安全確保を図り除雪作業を行っているが、高齢者世帯への雪対策、通学路の安全確保に向け引き続き取り組みを進めるべきである。

1 関係機関・団体と連携を強化し、早期の災害復旧を行うこと

回答 令和4年の豪雨災害に係る道路、橋梁、河川については、一部追加工事の必要な箇所を除き完了している。
長堀堰の山側法面復旧工事は、農村地域防災減災事業による3カ年の調査事業により復旧工法を検討した後に工事を実施の予定。

置賜公園は、鏡沼復旧工事の工程と連携した取り組みが必要となることから、鏡沼の工事進捗に併せた復旧工事の検討を進めている。

今後も国、県や関係団体と連携しながら、復旧対策を継続して、実施していく。

検証評価 豪雨災害による復旧は、計画に沿って進められている。
令和7年度には、工事を完成するべきである。
長堀堰については、3年間の調査期間であるため、白川土地改良区と連携しながら強靱化を進めるべきである。

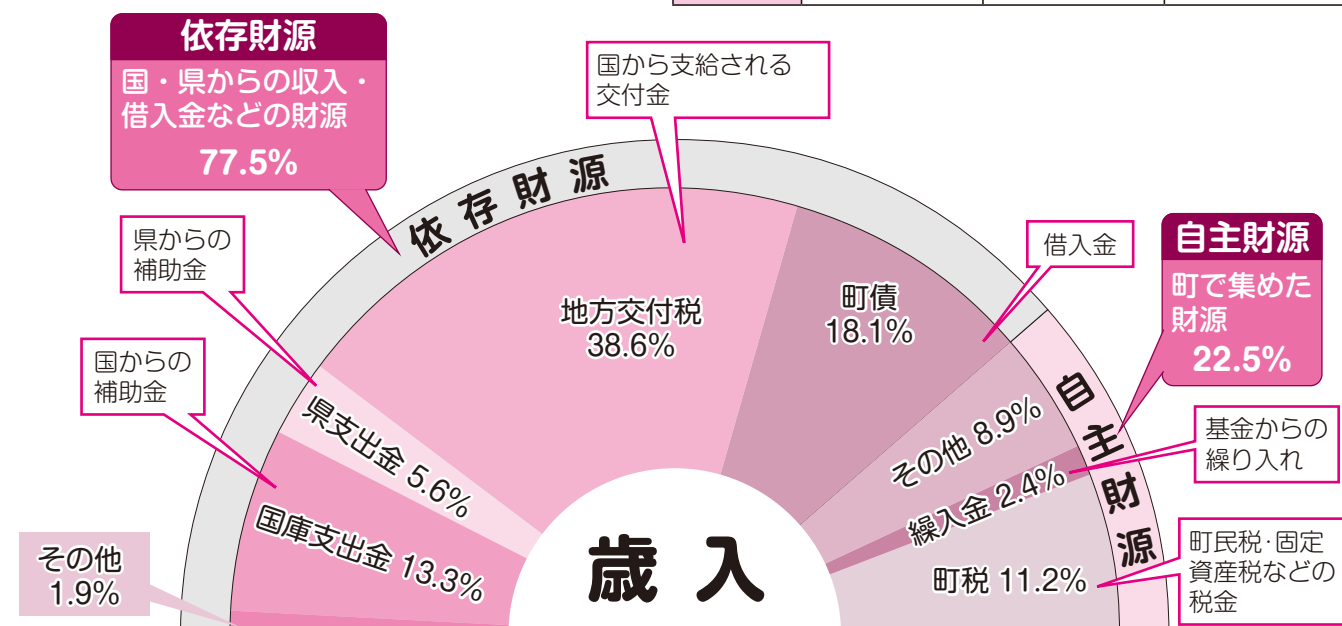
提言3 災害に強いまちづくり

過去最大規模の当初予算

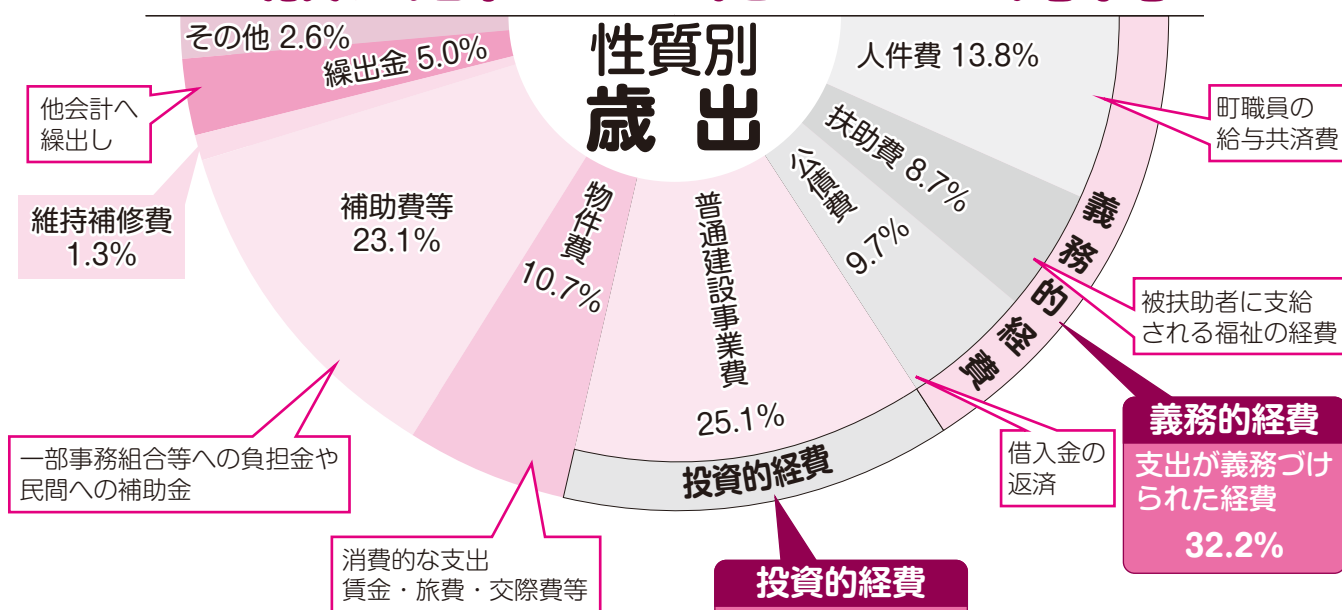
3月
定例会

予算の内訳

	令和6年度	令和7年度	増減額
地方交付税	52億6000万円	53億1000万円	5000万円
町債(借入金)	16億2610万円	24億8360万円	8億5750万円



一般会計 137億4000万円



	令和6年度	令和7年度	増減額
人件費	18億5515万円	19億258万円	4743万円
補助費等	30億6025万円	31億7324万円	1億1299万円

令和7年度一般会計予算の特徴

1. 137億4000万円で前年対比15.7パーセント増。
2. 投資的経費は、まちなかテラス整備事業、川西中長寿命化事業、町民体育館整備事業など66.2パーセント増の34億5671万円。
3. 公債費(借入金返済)は前年対比2.5パーセント増の13億3094万円。
4. 主な事業は、川西町誕生70周年記念事業、公立置賜川西診療所老朽化への対応、基盤整備事業の推進と農業用施設の改修事業など。

令和7年度の一般会計の総額は、137億4000万円、前年度対比15.7%増となった。増加の主な要因は、公共施設整備で11月完成を予定している「まちなかテラス」(旧役場跡地利用)の本体工事をはじめ老朽化した川西中学校の長寿命化事業費の増が挙げられる。

生活満足度の向上
町長は施政方針で、本町の財政状況は義務的経費である人件費や公債費の支出が依然として大きなウエイトを占めている。一方、本町の最大財源である地方交付税は、全国規模総額1.6%の増額の見込みだが、人口減少で大幅な増加は期待できない。また各種基金の残高が乏しいことから、行財政改革と併せて町財政の健全な運営が必要であるとしている。

予算編成では、第5次川西町総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略で取り組んできた事業の推進と政策的な課題・防災対応の事業を最大限見込んだ。

3月定例会のあらまし

3月定例会が、3月4日から21日までの18日間の会期で開催された。

第1日目に、川西町固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員の推薦、松川堰組合議会議員の選挙の人事案件3件を可決、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてなど、条例案8件、町道路線の廃止と認定を一括上程、質疑の後、各常任委員会に付託した。

続いて、令和7年度施政方針の説明、条例案1件、令和6年度各会計補正予算5議案、令和7年度会計予算7議案を一括上程。請願1件を付託した。

第2日目に2人の議員が一般質問を行い、人口減少対策や子育て支援などについて質問した。次いで、本会議を開き第1日目に一括上程した予算案に対し総括質疑を行い、予算特別委員会に付託した。

第4日目を以降、常任委員会、予算特別委員会分科会を開催し、各議案を審査した。

最終日に、予算特別委員会の採決後、追加提案された教育長の人事案、付託された令和6年度補正予算5議案、令和7年度各会計予算7議案、条例9件、請願1件を原案通り可決した。

議員発議により、高橋輝行議員に対する辞職勧告決議、国に対する意見書の提出が可決され閉会した。

今定例会の傍聴者は5人だった。

投資的経費が大幅増
川西中長寿命化
まちなかテラス

町誕生70周年に期待

ちょっと
言わせて!!
私たちも70歳



冬にも楽しいイベントを

合併をしてから70年で人口が約半分になってしまい、玉庭地区では、保育園や小中学校も併合され、過疎化が一層進んでいるのが現実で、からの町政運営も大変になると思います。また、地区で行事を行っても参加する人が決まっている現状で、女性の方が大半で、男性の参加を促す行事等を計画していかなければならないと思います。

町政運営も大変ですが、茂木町長に踏ん張ってもらい、将来の川西像を描いて頂きたいです。そのためなら私も、もうひとがんばりしなければと思います。

町政70周年に思う



玉庭地区
佐藤 準一さん



小松地区
栗野 順子さん

私が幼い頃は、人口も3万人を超えていましたが、今はその半分以下。人口増は望めませんが、これ以上減らないように願っています。

町と町民による協働のまちづくりを推進させ、私も手伝えることがあれば協力したいです。

健康管理を行い、これから先も我が町が明るく、安心して暮らしていけるよう、見守っていききたいと思っています。

賑わいある施設を望む



子どもたちが集まる賑わいを

皆が楽しめるイベントを



中郡地区
鈴木 正光さん

川西町誕生70周年おめでとうございます。今年で70歳になります。町民の方々の人柄の良さを実感しています。退職後は家内と専業農家をしています。少子高齢化で今後の農業の在り方を懸念しています。

孫たちの成長を見守りながら家族旅行や会食など、毎日が初日だと思います。

70周年の記念事業は子どもからお年よりまで楽しめるようなイベントを開催して貰いたいです。川西町がなお一層発展することを願っています。



町民の楽しみ 夏まつり

議会
運用

コンフォートビズ (通年軽装化)を実施

川西町議会ではこれまで、ネクタイ、上着着用が原則で、ほかに規定があったが、省エネ、環境配慮などから、夏場はノーネクタイの対応だった。(クールビズ対応)

3月1日よりさらに軽装化を図り、オールシーズン、ノーネクタイ、上着着用義務なし、ネーム着用とした。

着用が適当でない服装 (一例)

- × ランニングシャツ
- × ハーフパンツ
- × サンドル

川西まちなかテラス(地域振興拠点)整備

9億6093万円



完成が期待される

旧役場庁舎跡地の敷地造成が終了し、令和7年11月完成、8年稼働に向け、本格的に工事が継続される。

本年度は、本体工事・地下水利用設備(無散水融雪用)などの工事、いよいよその全容が現れ、期待が高まる。

川西町誕生70周年記念事業

875万円



70周年を祝う夏まつりに

70周年記念式典を中心に、先人の偉業に感謝するとともに、今後の本町振興発展に向けた決意を町民と共有し、1年間を通して各事業に70周年のロゴや名称を付け記念ムードを盛り上げていく。

具体的には今後町民にお知らせしていく。

川西中学校長寿命化整備事業

12億6844万円



安全安心な校舎で学ぶ

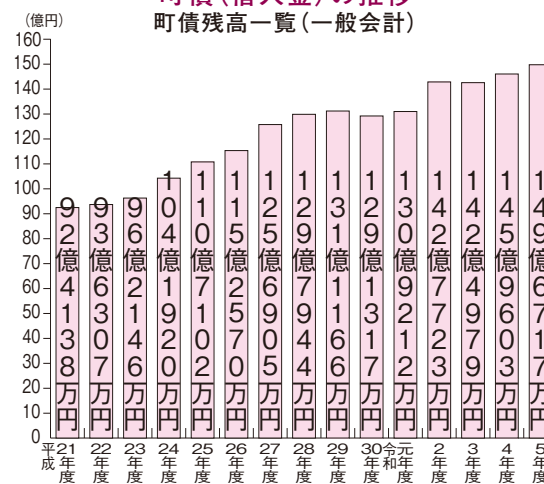
建設から40年経過し、老朽化による雨漏りなどが目立ち、全面的な改修工事の2年目を迎える。

武道場が終了し体育館、校舎が中心となる。

生徒の学習・部活動に不安のない環境づくりを進める。

ここが知りたい

町債(借入金)の推移 町債残高一覧(一般会計)



令和7年度各会計予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	137億4000万円	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計	17億5446万円	賛成多数により可決(反対2)
介護保険事業特別会計	20億7025万円	賛成多数により可決(反対2)
後期高齢者医療特別会計	2億1631万円	賛成多数により可決(反対2)

企業会計	収入	支出	議決の内容
水道事業	収益的 4億6313万円	4億5220万円	全員賛成により可決
会計	資本的 1億4732万円	3億1097万円	
下水道事業	収益的 4億2018万円	3億5350万円	全員賛成により可決
会計	資本的 6629万円	2億7869万円	
農業集落排水事業	収益的 6723万円	2億6086万円	全員賛成により可決
会計	資本的 1045万円	4605万円	

70周年記念事業実施へ

主な質疑

問 川西町誕生70周年記念事業は、

総務課長 70周年記念の式典および記念事業として各実施者に補助金を出す。

意見 幅広い世代が気軽に参加できるようにし、外部の人材を有効に活用すること。

問 旧校舎施設維持管理事業は、

財政課長 社会福祉事業団から旧高山小学校の体育館とプールについて、町に返却したい旨の話があった。

意見 議会と情報を共有し、今後の契約にあたっては慎重に協議すること。

問 地域おこし協力隊事業は、

まちづくり課長 協力隊の募集委員向けに支援事業である。

意見 隊員の任務については、行政内部で処理する事務では

問 放課後児童クラブの運営は、

教育文化課長 放課後児童クラブ業務の委託費や利用料等の負担軽減の補助金であり、国の算定基準の変更による増額となった。

意見 放課後児童支援員および補助員の処遇改善に努めるこ

なく、地域振興に関わる内容にすること。

問 地域経済循環創造事業は、

まちづくり課長 新たなビジネスを立ち上げる初期投資費用の支援である。

意見 当該事業者は、これまで地域振興に寄与しており、継続して支援すること。

問 放課後児童クラブの運営は、

教育文化課長 放課後児童クラブ業務の委託費や利用料等の負担軽減の補助金であり、国の算定基準の変更による増額となった。

意見 放課後児童支援員および補助員の処遇改善に努めるこ



給食は健康な体づくりに大切

問 小学校給食業務経費は、

教育文化課長 小学校給食業務で、小松小学校は一食293円、他の

意見 小学校は炊飯委託に付き323円であり、町で20円を補助している。給食の無償化に向けて検討すること。

環境対策

省エネ家電購入に補助

主な質疑

問 エネルギー価格高騰対策は、

住居課長 エネルギー価格高騰対策省エネ家電買い換え促進事業で10万円以上の冷蔵庫、エアコンを町内業者より購入する場合に3万円を支援する。

意見 住民への事業内容の周知を十分に図ること。

問 マイナンバーカードの保有率は、

住居課長 現在の保有率は、81・8%で保険証との紐づけは76・6%であり、さらに保有率を高めたい。

意見 保有率向上に努めること。

問 民生委員児童委員協議会活動状況は、

福祉課長 民生員児童委員の改選期にあたり、12月に新委員が決まる。(3年任期)

意見 なり手不足の課題もあることから、負担軽減を図ること。

問 地域環境保全対策事業とは、

住居課長 野良猫の不妊、去勢手術費補助の事業で寒河江市の業者に依頼する。

意見 成果や効果の検証をしながら実施すること。

問 後期高齢者の健康状況は、

福祉課長 後期高齢者全員に健診票を送付したところ、受診率が上がり、新年度予算額を増額した。

意見 今後も受診率が上がるよう取り組みを行うこと。

対象製品	
エアコン 省エネ基準達成率100%以上のもの (目標年度:2027年度)	電気冷蔵庫 省エネ基準達成率100%以上のもの (目標年度:2021年度)

エアコン・冷蔵庫は町内の電器店で



健診で健康対策を

町長に聞く

予算審議の分科会で、特に政策的な事項を町長に聞いた

第1分科会

問 第2世代交付金事業とは。

町長 石破内閣発足後に「新しい地方経済、生活環境創生交付金」が創設された。

地方公共団体がより効果的に施策を実施することで、地域全体の発展が期待され、地域の魅力づくりや産業振興、施設の充実によって、住民全体の生活環境が向上し、地域の持続的な発展が期待できるとしている。地域住民の自主性と創意工夫に基づく独自の取り組みに対して、計画から事業実施段階まで、国から事業費の2分の1が補助される。

本町では、産業振興、観光資源の活用等による観光人口、交流人口の拡大を目指し、観光交流事業や農業をはじめとした産業振興事業等の一部を賑わいづくり推進事業、しごとづくり推進事業、3町連携推進事業の3つに再編する。

また、現在整備を進めている川西まちなかテラスの充実を図るため、環境整備に第2世代交付金を活用した事業として展開する。

4つの事業を展開

一つ目の賑わいづくり推進事業については、令和8年度オープン予定の川西まちなかテラスを核としたにぎわい創出に向け、令和7年度において、4つの事業を計画しながら準備

を進めるため事業を展開するうえで、官民連携が必須であり、町、関係機関が構成する、賑わいづくり協議会（仮称）を設置する。

二つ目として、地域資源を最大源に活用した高付加価値型観光コンテンツを開発し川西ファンを拡大する。

三つ目として、リアルとオンラインを併用したハイブリッド型交流コンテンツの提供やイベントの開催を進める。

四つ目としてまちなかテラスの備品等の整備を進め、観光情報ワンストップ窓口を構築し、利活用の満足度を高める。



賑わいづくりの核になる駅前通り

※第2世代交付金
新たに地方公共団体が自由度の高い事業を行うことができる交付金。
ハード、ソフトや分野間連携の事業を一体的に支援する。

第2分科会

問 第2世代交付金に係る3町連携推進事業とは。

町長 事業計画にあたって、「地域間連携」の視点は、「官民協働」や「事業推進主体の形成」などである。この交付金を活用して本町と西川町、大石田町の3町が地域間連携により取り組むもの。3町の首長間で情報交換を行い、地方創生に向けた交付金を活用している西川町のノウハウを参考に、各町共通の課題である観光振興や関係人口の拡大に向けて連携して取り組むことを検討を行い、事業を計画した。具体的な取り組みとしては

①「観光客や関係人口の受入環境整備」、②「旅行商品の企画と受

入」、③「首都圏及び仙台圏でのプロモーション」を行い首都圏相乗効果による観光客や関係人口の増加を期待している。

観光事業と交流事業の二元的推進は

問 今後、町の活性化に向けては。

町長 観光と交流の融合による各種団体との連携強化などを行いながら抜本的な組織の立て直しを図り、新たな観光交流が展開できるように努める。

観光と交流の一元化による目指す姿としては、①「多様な主体による観光サービスの促進と交流事業の収益化による町全体への経済効果の波及」、②「あらゆる来町者との丁寧

なコミュニケーションによる関係人口への展開と地域課題への対応」を掲げ、町組織においては、これまで産業振興課で所管していた観光事業とまちづくり課で所管していた交流事業を合わせて所管する商工観光課を新たに設置する。

川西診療所施設整備の今後は

問 公立置賜川西診療所施設整備の方針は。

町長 現在の川西診療所の建物は昭和42年4月に開設以来、58年が経過し、施設が老朽化している。

川西診療所は、公立置賜総合病院のサテライト医療施設であり、町民にとって身近に受

診できる公的医療機関として、令和5年度は1100人余りの方が利用されている。

診療は、総合診療科、内科、整形外科、訪問診療を行い、基幹病院との情報ネットワークにより患者情報の共有化が図られ、利便性に配慮された医療機関となっている。

今後、人口減少が進

行する中、医療と介護の複合ニーズが高い85歳以上の方は現在約1200人であるが、10年後も同数程度、15年後は約1300人と見込まれている。治し支える医療が新たな地域医療として求められていることから、公立置賜川西診療所施設整備に取り組む。



観光事業のかなめ = 川西町観光交流協会

予算 審議

総括質疑



3町による連携事業とは何か

神村 建二 議員

神村 令和7年度予算が示され、主な事業の一つに他の町との広域連携事業が計画されているが、その中身はどういうものか。また、メリットは何か。

町長 まさしく、政府が地方創生に向けて創設した「新しい地方経済・生活環境創生交付金」

川西町の適正な予算規模は

高橋 輝行 議員

高橋 当初予算規模が137億4000万円で、これまでの最高額を更新した。公立置賜総合病院分の交付税が算入されているとはいえ、総額100億円程度が適正な予算規模と考えるが、町長の考えはどうか。

町長 まちなかテラスや中学校の長寿

直接支援の物価高騰対策を

橋本 欣一 議員

橋本 物価高騰対策として本町では、一戸当たり7000円の灯油券を配布し、町民に喜ばれている。

町長 7年度予算においても町民に対して物価高騰を中心に直接支援で、交付金の活用を図るべきである。

正 算 補 予

除雪費 大幅増額

条 例

空家の 適正管理

臨時会

燃料券 配布

令和6年度一般会計補正予算（第8号）で、冬期交通確保事業除雪委託料1億2000万円を増額補正した。今年2月以降の大雪により降雪量の多い日が続いたことに伴い、除雪費の補正が令和6年12月、令和7年2月に続いてとなった。

が90時間から100時間となり、その不足分で、1782万円増の補正。

一般会計補正（第7号）では、除雪費委託料6300万円増の補正。

今季シーズンの除雪に係る一般会計経費総額は、3億2082万円となった。これは令和2年度以来の豪雪災害となった結果である。

降雪量と積雪深の推移 令和6年度・令和5年度の比較

令和6年度		
最大降雪量	70cm	(2月7日)
最大積雪深	160cm	(2月24日)
累計降雪	868cm	
令和5年度		
最大降雪量	31cm	(12月18日)
最大積雪深	48cm	(1月27日)
累計降雪	329cm	

放置すれば特定空家等になるおそれのある空き家を「管理不全空家」と位置づけ、特定空家等に加えて、「管理不全化空家等」も助言、指導、勧告の措置をとることができる。

他に「川西町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定」など8件、町道路線の廃止について、町道路線の認定についてが上提され、すべて可決された。



高騰する燃料対策に

全員賛成により可決

公布の日から施行

施行期日

補正額4285万円

物価高騰対応臨時燃

料券支援事業として、灯油、ガソリン、軽油、ガス等の燃料購入に対し、一世帯当たり7000円分の燃料券を給付する。

また、介護・障がい事業所に対して支援を行う。

補正額3288万円

全員賛成により可決

3月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
議員名	船山 千鶴	鈴木 孝之	寒河江 寿樹	遠藤 明子	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	鈴木 幸廣	神村 建二	橋本 欣一	高橋 輝行	伊藤 進	井上 晃一
議第8号令和7年川西町度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—	○	
議第9号令和7年度川西町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—	○	
議第10号令和7年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—	○	

他の議案はすべて全員賛成でした。(高橋輝行議員は補正予算・当初予算採決時退席)
○は賛成、×は反対、—は欠席。議長は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。

新教育長に

片倉氏



●片倉 和之氏
(新任) (上小松)

略歴

昭和62年教員としてスタートし、犬川小をかわきりに勤務し、以後、中郡小・大塚小・小松小の校長を歴任
令和6年3月定年退職

前教育長小林英喜氏は3月31日で任期満了となった。大変お疲れ様でした。

全員賛成により同意

固定資産評価審査委員会委員

令和7年3月31日で現委員が任期満了となるため提案するもの。

●猪股 拓也氏
(新任) (小松)

全員賛成により同意

人権擁護委員

法務大臣より推薦依頼があったので、議会の意見を求めるもの。

●鈴木 浩之氏
(新任) (小松)

全員賛成により同意

松川堰組合協議会議員

松川堰組合管理者より告知があったので、議会の選挙を求めるもの。

●寒河江 司氏
(新任) (洲島)

全員賛成により同意

請願意見書

川西まちなかテラスに関する町民の意見反映についての請願

請願者

川西町にぎわいづくり検討委員会有志の会
代表 佐藤 千恵美

紹介議員 鈴木 孝之

所管委員会

総務文教常任委員会

町民から構成される川西町にぎわいづくり検討委員の意見が適切に反映されていないと感じる。検討委員会の意見を尊重し適切に反映していただきたい。

審議未了につき継続

給食の無償化を求める意見書の提出について

請願者

学校給食の早期無償化をめざす山形県民の会
代表委員 高木 紘一
紹介議員 橋本 欣一
吉村 徹

学校給食法を改正し、国の責任において、すべての市町村で学校給食の無償化を実施できるように進めることと、国による恒久的な給食の無償化が行われるまで、学校給食費の軽減策を実施する各市町村に対して、その財政支援の拡充を図ること。

全員賛成により可決

同内容で意見書が次のように提出された。
提出先
内閣総理大臣・財務大臣・文部科学大臣

全員賛成により可決

辞職勧告

町民と議会に対して2年も経つが未だに説明責任を果たしていない。一連の行為は町民の信託を受けた議会議員としての自覚を欠く行為である。このことは、議員一人の問題にとどまらず、議会に対する町民の信頼を著しく失墜させた社会的、道義的責任は重い。町民の信頼を回復するため、自らの意志と責任において町議会議員を辞職すること勧告する。

提出者 遠藤明子
賛成者 橋本欣一
寒河江寿樹 神村建二
鈴木幸廣 鈴木孝之
松山千鶴

全員賛成により可決

町政を問う

2人の議員がするどく一般質問

定例会第2日目に一般質問が行われ、2人の議員が町政について質問しました。(発言順)に掲載します。

P22	吉村 徹 議員	① 本町での人口減少問題 ・加速する人口減少 ・地域組織への危機感 ・新生児出生数 ・今後の人口減少対策 ② 豪雪災害対策 ・本町での被害状況 ・高齢者、一人暮らし世帯への支援 ・各地区での除雪支援の取り組み ・中山間地域への消雪支援 ・今後の雪害対策の取り組み ③ 带状疱疹ワクチンの定期接種 ・本町でのワクチンの定期接種の取り組み
P23	橋本 欣一 議員	① 子育て支援 ・本町の直近の合計特殊出生率や出生率から見えてくる状況と展望 ・施策の大胆な実行 ・子育て支援のサポート拡充 ② GIGAスクール構想 ・現在の本町のGIGAスクール構想の状況 ・国際的なデジタルから紙への回帰

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見るができます。(https://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

⑤抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかったもの。

まちの未来が見える(3月定例会の傍聴者は5人)
議会傍聴においでください
次回定例会は6月です
どなたでも傍聴できます
(事前連絡は不要です
役場3階においでください)



一般質問

豪雪の対応

豪雪の被害状況と支援体制

町長 ー 川西町豪雪対策本部を設置



吉村 徹 議員

町長 数年に一度と言われた寒波による豪雪での被害状況は、

町長 人的被害については、亡くなられた方が1人、重症の方が6人、軽症の方が1人となっている。建物、農業被害について数件報告されている。

町長 高年齢者や一人暮らし世帯への除雪支援はどのように。

町長 高年齢者世帯、心身障害者世帯に

対し、費用の一部援助を行っている。また、各地区での除雪支援について、ボランティア除雪等推進事業を実施している。

町長 大雪による春の農作業などが遅れることが心配されるか。

町長 県による融雪剤の購入に係る支援があり、農家の皆さんへの希望調査を行っている。

町長 人口減少対策は加速する人口減少をどのように考えるか。

町長 本町にとって人口減少と少子高齢化の進展はまちづくりを進めていく上で最も大きな課題と捉えている。

町長 人口減少を受け、自治会をはじめとする地域のさまざまな組織運営に危機感が出てきている。

町長 人口減少や高齢化など、さまざまな要素が入り交じり、現行の組織維持が難しい。

町長 人口減少や高齢化など、さまざまな要素が入り交じり、現行の組織維持が難しい。

町長 本町にとって人口減少と少子高齢化の進展はまちづくりを進めていく上で最も大きな課題と捉えている。

町長 人口減少を受け、自治会をはじめとする地域のさまざまな組織運営に危機感が出てきている。

町長 人口減少や高齢化など、さまざまな要素が入り交じり、現行の組織維持が難しい。

町長 人口減少や高齢化など、さまざまな要素が入り交じり、現行の組織維持が難しい。



2月7日に設置された豪雪対策本部

子育て支援の一層の充実を

町長 ー 国県町が一体となって支援を加速していく

子育て支援

町長 少子化が進んでいるが、本町の合計特殊出生率は直近ではどうか。またこの数字をどのように見るか。

町長 本町の合計特殊出生率は、平成30年から令和4年までの平均が1・39であったが、令和5年では1・08となっている。

町長 出生率の低下に伴う人口減少や少子高齢化は地域の活力の低下など、町を維持していく上で大きく影響し、全国的な課題である。

町長 令和元年に合計特殊出生率を2・95と飛躍的に伸ばした岡山県奈義町では、

少子化対策を最大の高齢者福祉と捉え施策を進めている。少子化により今ある商店、スーパー、医療機関、交通機関など生活に必要な施設や機能、サービスが維持できなくなれば、高齢者の安全、安心な生活が脅かされるといえる。

町長 このことを受け経済的な支援とともに地域全体で子育てをサポートし安心できる環境が作られている。

町長 本町でも子育て支援センター活動を中心にサポート体制の充実を図るべき。

町長 子育てに不安を感じ、悩みの解消

消の場、また情報交換の場としてなど、専門家による相談を行う子育て支援センターを設置してサポートしている。また、健康子育て課に「こども家庭センター」を設置、妊娠から出産、子育て期までさまざまな相談に応じ、関係機関と連携を密に支援している。

町長 児童生徒に1人1台の端末を配備し、それぞれの学習に役立てていると聞く。その効果は。

町長 令和2年に町内すべての児童生

町長 令和2年に町内すべての児童生

徒に配備した。考えを可視化したり、共有化するなどで多様な考えを深める効果が出ている。

町長 教員間での活用状況の差がみられるなどの課題があるため、それぞれのスキルに合わせた研修などを実施している。

町長 デジタル化の反面、「紙」への

町長 デジタルと紙媒体の組み合わせの報告は聞いている。それぞれの状況に対応していきたい。

健康被害の報告は出ていない。

町長 デジタルと紙媒体の組み合わせの報告は聞いている。それぞれの状況に対応していきたい。

町長 デジタルと紙媒体の組み合わせの報告は聞いている。それぞれの状況に対応していきたい。

町長 デジタルと紙媒体の組み合わせの報告は聞いている。それぞれの状況に対応していきたい。



未来にはばたく卒園児 ー 美郷幼稚園

いいね！かわにし 街かどインタビュー

3月9日(日)フレンドリープラザで「春待ち市」が行われ、
出店者や来場された皆さんに直撃インタビューを行いました。

小林 暖くん(小松小2年)
おばあちゃんといっしょにイベントを見に来ました。近所に友達がいないので、みんなと遊べる学校がある日のほうが好きです。
今日は、おばあちゃんに連れてきてもらってとても楽しいです。



鈴木 昌子さん(南陽市)
「にやんまるもーる」で出店しています。
マルシェなどのイベントがあれば県外にも出かけます。猫が好きで、作品を見てかわいいと言ってくれると嬉しいし、話が弾みます。川西の方は温かい人ばかりです。



遠藤 明子さん(小松)
琴乃さん(置賜農高)
母の手伝いで参加しました。自分の気に入った商品を探して「かわいい」と言って貰えるのがうれしいです。学校前の道路が雪で歩行が大変でした。降雪量の多い時は早めに対応してほしいです。



小方菜都子さん(東沢)
雑貨物が好きで、「春待ち市」を毎回楽しみにしています。たくさんのお店数があり、見て回るのがとても楽しいです。
このイベントは是非継続し、定期的に開催してほしいと思います。
私は川西町が大好きです。



板垣まゆみさん(南陽市)
出店に参加。みなさんフレンドリーな方ばかりで「また来たいよ」と楽しみに待っていて下さる方もいてうれしいです。初回から欠かさず出店、友達に声を掛け、出店者を募り楽しんでいきます。川西町はイベントづくりが上手だと感じます。



鈴木 舞さん(中郡)
町のイベントを知らない町民が多いと感じます。PRに力を入れ、多くの方々に見に来てほしいです。さまざまなブースがあるので、子どもからお年寄りまで楽しんで貰えると思います。町に対しては、子育て環境を良くしてほしいです。



佐藤 綾子さん(米沢市)
イラストレーターです。花と森のデザイン絵を描いています。川西町はアルカディア的な自然豊かで理想郷を感じさせる印象を持ちます。
広告イラストや看板イラストの仕事をしています。多くの人に私の作品を見てほしいです。



柿岡 琳音くん(下川西中3年)
佐藤 陸くん(至)
川上 昂大くん(至)
柄澤 旬作くん(至)
現在、校舎が工事中ですが、早く終了して思い切り体育館で運動したいです。学校ではみんな仲良く勉強や部活動を行っています。



みなさんから頂いた要望については、今後の議会活動に生かします。

委員会 レポート

「あいばる」 現況調査

総務文教常任委員会

2月14日、川西町交流館「あいばる」の利用状況について的一般質問や、災害資機材備蓄置き場として活用されていることから、施設の現況を調査した。
施設の概要・交流施設(体育館・グラウンド・多目的ホール・会議室等)、宿泊施設、文化施設(アルカディア人物館・遅筆堂文庫分室・埋蔵文化財資料展示館)、災害資機材備蓄置き場
現状確認については、体育館とグラウンド以外の稼働率が悪い。問



品数が豊富で高評価 = 森のマルシェ

マルシェ・斎場の 運営調査

産業厚生常任委員会

題点の精査検討を行い、利用者数を増やす工夫が必要であることを確認した。

2月13日、指定管理期間が3月末日で終了予定のかわにし森のマルシェ・川西町斎場の2施設について現状を調査した。
かわにし森のマルシェは、設立して10年経過。現在は、生産者(出荷者)が増加し、農産物、加工品、花、工芸品等の生産物の種類も増加している。現在の株主は約220人。売上目標は1億4000万円としている。
調査の結果、レストラン、厨房、バックヤード等は改善策の検討が必要と感じた。
川西町斎場は、本年4月1日から株式会社ナウエルと東北警備保障株式会社による川西町斎場共同企業体が令和11年度までの5年間、指定管理者となる。今後は24時間対応等、住民対応の向上が期待される。
屋根の塗装は令和8年度に実施予定である。

議長交際費(議会活性化の一環として公開)

令和6年10月から令和7年3月まで

月	件数	金額	内容
10月	2	12,000	長井市市政施行70周年記念式典等
11月	2	24,000	置賜広域行政事務組合議会議員懇親会等
12月	2	10,000	新嘗祭献穀に係る報告会等
1月	4	19,000	川西町消防団幹部新年会等

月	件数	金額	内容
2月	2	17,000	置賜三市五町議会連絡協議会議長会等
3月	1	6,000	川西町認定農業者の会全体研修会
下半期合計		88,000	

広報モニターから ひとこと⑧ 東沢 大友 篤 さん

米政策に思うこと

私の家は昔から稲作農家で、現在は会社勤めをしながらの兼業農家です。昨今の米価高騰では、今では昨年の二倍近くまで高騰するという異常な事態になっているではありませんか。現在の小売価格は、ほとんどが農家から手を離れ業者に渡って以降の上昇分です。集荷業者から正規の卸業者を介して消費者に渡るのであれば、今の

ような値上がりはないと思うのですが、米不足と分かれると一部の中間業者、また、米の扱いをしたことのないにわか業者が現れ、投資目的で米を集め相場が上がるのを待ち、売りに出すという不届き者がいるとの報道もあります。

農家は肥料、資材、機械の高騰などで経営が圧迫される中、なんとか踏ん張って頑張っているのに、米価の値上がりは生産者には儲けは無く、蚊帳の外なのです。こうした矛盾を改善しないと今後一層、稲作経営は難しくなるでしょう。

今年ももうすぐ農作業シーズンを迎えます。私たち農家が生産活動ができるように、国、県はもちろん町の基幹産業は農業なので、持続可能で安心できる農業政策を行ってほしいと切に願います。



子育て支援の中核

放課後児童クラブ

今まで、数回に渡り一般質問や協議の場で子育て支援について議論を重ねてきた。
今回は放課後児童クラブに焦点を当ててみる。

はじめは

放課後児童健全育成事業は、保護者が労働等により日中家庭にいないなかで小学校に就学している児童に対し、授業の終了時に小学校の児童教室や地区交流センター、町公共施設



安心できる児童クラブ

等を利用して適切な学習と遊び、生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業である。

本町の最初の開設は、平成13年の小松地区である。その後、平成20年に吉島地区・中郡地区、平成22年に大塚地区となる。また、学校法人天笠学園では、平成31年に開設している。

現在は

現在の放課後児童クラブ5団体で、利用者は令和2年度では総数229人、支援員・補助員29人、令和6年度では総数263人、支援員・補助員30人となっている。

利用者は毎年250人前後で推移しており、本町の子育て支援



キッズビレッジ=学校法人天笠学園

問題や課題

放課後児童クラブの問題や課題は、①支援員や補助員の確保が難しいこと。②現在子ども数は減っているが、放課後児童クラブの利用率は上がっている。

③近年異常気象による熱中症対策などで遊び方にも課題がある。④今後さらに少子化が進むと予想されるため、

小学校の合併等、学区再編が進むかで放課後児童クラブの在り方についても考えなければならぬ。このような問題や課題を解決するため、一層の努力が必要となる。

3月定例会においても、支援員および補助員の処遇改善に努めることや、利用料等の負担軽減策にも努力して欲しいとの意見があった。

あれから……どうなった！



15

年連続入賞

優良賞

第7位

町村議会広報全国コンクール

(応募総数311紙)

県では入選



優良賞を受賞した第157号

審査員講評

議会広報サポーター
芳野 政明 委員長



頑張っています = 議会だより編集委員

「シリーズ広聴 町が大好き」では、町を中心に活動する地方劇団の活躍を周知。3月定例会の重要案件である新年度予算審議報告の2大特集とで構成されています。続いて町議会の「令和4年度政策検証・評価」と、町民の興味を引く企画を展開。他のページも含め、町民の「声」や「ひとこと」が多彩です。本誌編集への町民参加も有意義です。

デジタルアーキビスト
金井 茂樹 委員

予算や条例の審議をはじめ、委員会レポート、一般質問、追跡など数多くの記事が見やすく、読みやすく表現されています。どの記事においても見出しによる視線誘導が巧みで迷うことがありません。充実した質疑により慎重な議案審議が読者に伝わります。委員会レポートは調査背景や目的が示されていて読者の理解や納得感につながります。

置賜地方町村議会議長会 表彰(在籍17年)

3月4日議会定例会初日、橋本欣一議員(上小松)が議員在籍17年以上の自治功労者として、置賜地方町村議会議長会より表彰を受け、賞状と記念品の伝達が行われました。誠にありがとうございます。これからのさらなるご活躍に、ご期待申し上げます。



表紙の写真



どきどき・わくわく
さあスタート

麗かな春の陽射しがまぶしく、桜前線が北上する中、4月8日に町内各小学校の入学式が行われた。

小松小学校は全児童231名で、新入生は31名であった。写真の5名を含めた全児童のランドセルには、入りにくい多くの夢と希望がいっぱいつまっているようだ。学校でそれを一つ一つ広げていって、多くの友たちと仲よく楽しく生活していくことが、大切だと思う。

どきどきわくわくが止まらない新入生よ。健やかであれ。

子どもをもつ一人と
思える町づくりに

❖ プロフィール ❖

さとう
佐藤のぞみさん

川西町大字吉田
家族は、夫と子ども一人、
義父母の5人家族
三川町出身
趣味 映画鑑賞

吉島地区にお住いの
佐藤のぞみさんに子育て
てや町に望むことをお
聞きました。

出合いのきっかけ、
川西町の印象は

夫とは置賜地方と庄
内地方の若者の交流イ
ベントで出合い、話を
したのがきっかけです。
庄内の三川町から川
西町にきて9年目にな
ります。実家も稲作農
家で、自然豊かな風景
などは似ているので落
ち着きます。また、ご
近所のみなさんも親切
で、とても優しく接し
てくださいます。

仕事や子育てをして
感じることは

仕事は、南陽市のか
もしかクラブ交通安全
専門指導員をしていま
す。前職が保育士だっ
たこともあり、子ども
と接する仕事にやりが
いを感じています。



家族一緒に子育て中です

娘は、町内にある保
育施設に預けていま
す。私が仕事に出か
ける時など、夫や義父
母に協力してもらっ
ています。日常生活の
さまざまな面で同居
生活は本当にありが
たく感じています。

その他に、町の図書
館や子育て支援セン
ターをよく利用してい
ます。交通の面で不
便はありませんが、
子どもたちが伸び
伸びと遊べる公園が
ほしいです。

町に対し要望があれ
ばお聞かせください

子どもを産み、育
てるためには、ある程
度の資金が必要で、若
者は貯金や蓄えが少
ない。出産祝金の支
援があるともう一人
授かりたいと思える
のでは。また、公立
の保育施設では、美
味しい給食を食べさ
せてほしいです。

頂いた要望は町に提
言していきます。

編集の後で

▼現在の編集委員での
最後の号となりました
▼1期4年の半期が終
わり、議員それぞれの
委員会所属が変わりま
す▼定例会終了後3日
から4日で原稿を仕上
げ、入稿という厳しい
日程で編集作業を行わ
なければならず。編集
委員・アドバイザーの
粘り強い努力と伝えた
いという情熱に敬意を
表し、感謝致します▼
ご愛読ありがとうございました。

(はしもと)

発行責任者 井上 晃一
委員長 橋本 欣一
副委員長 鈴木 幸廣
委員 伊藤 進
同 寒河江 司
同 遠藤 明子
同 寒河江 寿樹
アドバイザー(文章) 佐々木 賢一
遠藤 勝則
アドバイザー(写真) 山田 順一
齋藤 文夫